

K O Σ M O Σ

Vol. 7, No. 4 (No.21) 1973. 4. 15

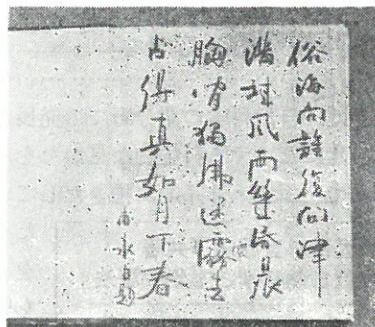
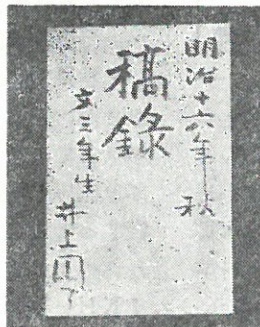
本学創立者 井上円了先生の 自筆ノート発見される

白冬の1月18日に半ば偶然的にはあったが、未整理本のかさなりつもる書庫の中より「明治16年秋 稿録 文三年生 井上円了」としたためられた学生時代の自筆ノートが発見された。黒表紙につつまれた、その萌え黄色の400頁余には、万緑と形容しうる程に、鋭鋒な筆意をもって流麗に英文が綴られ、見返しには号雨水を付した7言絶句が詠出されている。

縦横に大きく流動する明治の黎明期にあって、啓蒙思想家として生きた先生が、このノートの中で大思想家の諸学説の前に謙虚に身をおき、自らの知性と直観的理性の飛翔力ももちいて、自己、社会、自然、宇宙をひたすらに考究していく姿が現われている。

内容を縷々説明できないが、哲学、宗教、倫理学等の諸学説の読後感ならびに要約が主なもので、H・スペンサー著「第一原理」をはじめとし、シュヴェーグラー著「西洋哲学史」、J・S・ミルの諸論文・J・レグ著「孟子」、L・ウォード著「動態社会学」等々、枚挙にいとまのない程多岐にわたっている事がわかる。

さいごに先生の読みぶりについて触れておきたい。一つには書誌ノートを作成して系統的に読破している事である。また「ある科学の歴史は科学それ自身である」といったゲーテの言葉を想起させる程に、学問の歴史的過程を熟視している事が、シュヴェーグラーの読後ノート等から窺われるのも興味深い。無論、原典主義の傾向が見られる事も付記しておこう。(佐久間)



写真左は表紙、写真右は見返し。書き下し文は次のとおり。

俗海誰に向かつて復た津を問はん / 満城の風雨幾昏晨 / 胸間独り迷雲を
占ひ去り / 占め得たり真如月下の春 / 雨水自ら題す

特集 私のすすめる一冊の本	2
工学部ニュース	6
参考図書の解題	7
図書などの閲覧と貸出しのご案内	8
日誌	8

特集 私のすすめる一冊の本

はじめに 学生の皆さん、入学・進級おめでとう。とりわけ、新入生の皆さんは、なにかも新しい環境の中で、とまどいを感じると同時に、これからの大学生活を有意義にすごそうと胸をふくらませていることでしょう。

大学は、高校以前の教育課程にもまして、自分自身で研究する時間が多く、また、研究対象の選択の自由があります。そんなわけで、大学生活における読書の質と量は、研究の成果に直接反映するばかりか、自己変革の転機にもなりうるといっても過言ではありません。

「何を読むべきか」といったテーマの書物は世にいろいろと流布されていますし、書評が新聞や雑誌に掲載されています。こと改めて、私たちが、このような企画をしなくてもよかったのかもしれない。しかし、学生の皆さんが、日頃接する機会の多い先生方の示唆は、それら以上に強い印象を与えるのではあるまいか、より以上に参考になるのではあるまいかと考えて、あえて、図書館の選択委員の先生方に協力をお願いしました。編集委員は、皆さんが、大学生活中はいうまでもなく、それ以後においても、これらの書物の多くを読破され、さまざまな意味で、飛躍のきっかけを作られることをつよく願っています。

(図書館ニュース編集委員一同)

(注・掲載にあたっては、執筆された先生の氏名によって、五十音順に配列しました。)

著者のカルマンとピオは現在の応用力学における指導者であり、これらに関する論文を多数発表し、発表の都度斬新な研究方法について世界中の学者が注目している。この本は自然現象を研究するとき、どのようにしてその現象を表現すればよいかということに著者自身の研究成果を基にしてまとめたもので、工学部の学生であれば科の如何を問わず一読に値する。特に応用力学を志す者にとっては聖書的存在となるであろう。

(法政大学出版局、昭和36年・4版; 請求記号 501.1:KT:1—工学部所蔵)

カルマン、ピオ共著 村上勇次郎 武田晋一郎 飯沼一男共訳
「工学における数学的方法」
工学部土木工学科
浅井 貞 重

本書は、自然科学の諸分野での発展をふまえて、自然にたいする科学的な見かたをかなりのところまで全面的・体系的に描きだしています。わ

岩崎允胤、宮原将平共著
「現代自然科学と唯物弁証法」
経済学部経済学科
大谷 楨之介

たくしは本書を、自然科学を専攻しない諸君——白山学部の諸君一

一にもおすすめしたいと思います。それは、しっかりした自然観をもつことが、社会と社会的意識とについてのわたくしたちの認識にとって、ふつう考えられているよりもはるかに重要な意味をもっていると思われるからです。

(大月書店、1972年; 請求記号 401.6:IC)

今日の経営学が進歩しているかどうかは別にして、変化が激しい

ハロルド・クーンツ編 鈴木英寿訳
「経営の統一理論」

経営学部経営学科
齊藤 弘 行

ことだけははっきりしている。悪くいうならば、われわれは流行に押し流されているのかも知れない。行動科学的思考、システム論、数学のみを用いる学科などがよい例である。どれが主流になるかとか、どの方向を選択するかという前に、経営学(とくにアングロサクソン)の課題をもう一度ふり返ってみる必要がある。そのために本書を一読すると有益である。

(ダイヤモンド社、昭和43年; 請求記号 335.9:KH—3:5)

本書は中国経済史研究の開拓者である加藤繁博

加藤 繁著
「支那経済史考證 上・下」
文学部史学科
周 藤 吉 之

士の一生の論文を収集し、これに加藤博士の伝記(榎一雄氏の執筆)

を掲載したものである。これらの諸論文は中国の古代から清代までの農業・商業から土地制度・貨幣・国家財政などに至る広汎な研究であって、それらはみな今日の中国経済史研究の基礎的知識をなしている。また加藤博士は私の郷里の先輩であり、恩師でもあるが、本書の中の伝記はまことによく博士の学問とその性格を伝えていて、私は本書の論文を常に参照すると共に、その伝記をなつかしく読んでいる。(東洋文庫, 昭和28年; 請求記号 332.22:KS:3)

ここでいう「上水」とは、神田上水や玉川上水のように、飲用に供する水を供給する古代上水道施設のことである。江戸の幕府直轄6上水のほかに、全国各地の城下町にも藩營の上水が40余築造されていた。本書によれば、各上水ともローカル条件に適応した技術と工夫がこらされ、また開設の動機や発展経過に特徴がみられるという。上水道工学または土木工学の見地からも関心がそられるが、それにもまして、封建制下における諸藩の政治経済事情から庶民の生活までが鮮かに浮彫

堀越正雄著「日本の上水」
工学部土木学科
扇 田 彦 一

りされていて、まことに興味深い。(新人物往来社, 昭和45年; 発注中)

戦後始めて研究室に届いた新刊の原書、教授と競って読んだ学生時代がなつかしい。ネオ・フロイディズムの古典であり、このなかにある個と集団の発想は、その後今日まで、わたしが追いかけている大テーマになっている。原書は、英文とし

E・フロム著 日高六郎訳
「自由からの逃走」
社会学部応用社会学科
田 村 健 二

てもやさしく、しかも、歴史的な事例をあとづけ、引用して、一

気に興にまかせて一週間で読んだ記憶がある。フロイドに発するダイナミック・セオリーに興味をもつ社会科学系の学生に、ぜひ薦めたい。(東京創元新社, 昭和27年; 請求記号 363.1:FE)

いまから約70年まえ、日露戦争のころは社会主義の宣伝・組織活動のことを、「伝道」ということばで呼んだ。(1)は当時17才の荒畑勝三(寒村)少年らが「平民社」の赤塗りの箱車に社会主義の本を積んで、日本各地を手分けして伝道行商した記録。官憲の圧迫を受けながらのつらい旅であったのだが、この旅行記からは、今日たえてきくことのないいろいろな物音や人の語らいがきこえてくるようだ。(2)は明治30年代の終りごろ有名無名82名のひとびとが「平民新聞」、「直言」紙上でめいめいの社会主義への回心を語り合ったもの。(1. 新泉社, 1971年; 請求記号 363.021:AK-3 2. 新泉社; 発注中)

1. 荒畑寒村編 平田順解説
「社会主義伝道行商日記」
2. 荒畑寒村監修 太田雅夫編集
集「平民社日記・予は如何にして社会主義者となりし乎—
明治社会主義資料叢書, 2—」
文学部教養課程
暉 峻 凌 三

大学の講義を聞いても、本を読んでも、われわれは、その気に

梅棹忠夫著
「知的生産の技術」
社会学部応用社会学科
広 瀬 英 彦

さえなれば、さまざまな学問や知識を習得することができる。ところが、意外に誰も教えてくれないのが、勉強の仕方、それも学問の方法論といった高度なものではなく、「本はどう読むか」、「メモはどう取るか」、「資料はどう整理するか」、「レポート、原稿はどう書くか」といったごく基礎的な研究のやり方である。

この本は、それを教えてくれる。まだの人はぜひ一度読んでほしい。すべてマネするにせよ、しないにせよ、必ず学ぶところがあるに違いない。

(岩波書店, 1969年; 請求記号 002:UK)

ビジネス化した大学において、学生とはビジネスライクなつき合しか残されていない。見ず知らずの学生大衆に「本をすゝめる」ほどの勇氣も責任もない。この情況を知りつつも、あえて「一冊の本」をあげるならば――

マルキ・ド・サド (D・A・F・サド) 洪沢龍彦訳「悪徳の栄え」。19世紀初頭の人が書いた、たぶんに退屈なお話が延々とつづく本である。とくに産学協同の美德を信じる若きエンジニアに!

マルキ・ド・サド著 洪沢龍彦
訳「悪徳の栄え」

工学部建築学科

前田尚美

(現代思潮社、1972年；請求記号 95 3.914:SD)

「資本論」は単に19世紀の産業資本主義の経済構造の科学的分析であるばかりでなく、現代の独占資本主義＝帝国主義にとっても、その基礎的経済構造の科学的分析を示しているものである。

とくに経済学部、経営学部の学生諸君には在学4年間にぜひ必読をおすすめしたい。

(①長谷部文雄訳、青木書店、1958；請求記号 331.34:MK:7 ②大内兵衛、細川嘉六訳「マルクス・エンゲルス全集23～25巻」大月書店、昭和35年～；請求記号 363.3:MK:10の他、

カール・マルクス著「資本論
(全3巻)」

経営学部商学科

松田弘三

角川文庫、国民文庫などに所収)

夏目漱石は、多くの日本人によって、読み親しまれている作家の一人である。

本書は、漱石の「隠れた実像」を実証的に追求しつつ、著者、江藤淳氏その人の主体性に基づいて、漱石の実像・虚像が個性的な作家論として描かれているものである。これは、単なる文芸評論ではなく、実証的な作家論である点、今後の作家論に影響を与えると思われる。〔野間文芸賞・菊

江藤 淳著
「漱石とその時代」

短期大学日本文学科

宮田裕行

地寛賞受賞〕(新潮社、昭和45年<1・2部既刊；続刊中>、請求

記号 913.6:EA:2)

「数学は科学の基礎である」とは誰もが言うことであるが、そのときの数学と

アメリカ数理科学研究委員会編
本間龍雄監訳「数理科学の世界
——数学の新しい可能性——」

工学部教養課程

山下正勝

はどんな数学を指しているのだろうか？数学は日々発展して停まる場所を知らない。この本では現代数学の特質と、その広域にわたる応用について、約20の項目にわけて述べてある。

諸君はこの本によって現代数学の全貌を見ることが出来る。睡眠薬代りに読まれてもよい本だと思う。〔参考・「自然」1973年3月号に書評がある〕(講談社、1972年；発注中)

法学部法律学科 荒井 貢次郎

①片岡昇 乾昭三 中山研一編「法と現代社会」(有斐閣、¥600；発注中)

②片岡 昇編「法学の基礎」(有斐閣、¥500；発注中)

③川島武宣編「法社会学講座、全10巻」(岩波書店、1972～年続刊中、¥各1000；請求記号 321.4KT:4)

(編集委員 注・本稿は締切日以後に届きましたので五十音順に従がありませんでした。)

消費者は王様である。だが裸の王様であってはならぬ。現代にお

正田 彬著
「消費者の権利」

法学部経営法学科

中村 武

ける経済社会の展開は、一面においては経済構造の高度化をもたらすとともに、他面では、支配構造の下に消費者を組み込むというかたちをとり、消費者問題をクローズアップしてきた。

本書は現代社会における消費者の地位を前提として、消費者の人間としての生活・生存を基調とした「権利」という面から、この問題を取上げ検討をこころみたものである。企業あるいは資本を中心として組みあげられている現代の経済社会で、消費者が人間として、また取引主体(消費者たる

買主)が、どのような権利をもっているか、その法的の制度の役割を仔細に述べた警告書である。

その内容は消費者の地位と権利、消費者の生命と健康、消費者の権利と表示の問題、取引条件の決定と消費者、顧客の不当取引と消費者、消費者行政のあり方、消費者組織・消費者運動および消費者運動と労働運動、市民運動の八章に分れてわかり易く説かれている。

チクロ(サイクラミン酸ナトリウム)の禁止と行政官庁の甘い措置。人間の健康が害される可能性を企業の倒産より軽く取扱う行政官庁の甘い遣り方を非難し、欠陥車、欠陥電子レンジのメーカーの会社名を発表しないで、企業を保護する通産省のあいまいな態度を攻撃することから始まり、取引主体としての人間(消費者)の経済上の弱者としての特殊性と商品の特定性、商品の安全性と消費者、価格の決定と消費者の選択、買主は「王様」といわれるが、実は何でも握らされる「裸の王様」にすぎないことをわれわれに知らせてくれる。かくて管理価格・価格協定、再販売価格のからくりを通じて、昭和34年4月以来、つねに一斉値上げが繰り返されている各商品の例が列挙される。これらの際、消費者は、値上げされた商品を買うか、あるいはこの種の商品を買う利益を断念するかの二者択一を迫られている。これらの場合、消費者の権利は、法制度の上で、また行政運営の中で、どのようにとりあつかわれているかについて、著者は興味ぶかく独禁法や食品衛生法、道路運送車輛法、電気用品取締法等の条文を克明にあげ、法制度行政上の遣り方の型を説明し、消費者の権利の侵害が大幅に行われている場合を暴露している。とともに、現在の高度に発展した独占資本主義の経済社会においては、消費者の権利を中心とした立法行政が具体化することは、極めて困難であることを認める。消費者は自らの力をもって、消費者のためになる立法あるいは行政を、自らの権利をまもるための手掛りにする工夫をしなければならぬと主張する。

かように本書で、慶応義塾大学で経済法の講座をもつ著者が公正な競争秩序を侵害する経済社会、とりわけ大企業、支配資本にいろいろな面で従属せざるを得ない、経済社会における弱者たる取引主体の権利を侵す諸例をあげ、消費者の自覚とその権利を守るための制度を丹念に論じた手法

には、敬意を表する。が、頼りにならぬ行政庁の態度を是正する、公正な裁判所の判例を例示説明する努力が不足したことは遺憾である。

一面最近大豆・もち米・魚類・材木等の買占め、投機により、消費者物価の暴騰は目にあまり、消費者の困惑は顕著である。これら一連の、不当な商社の行為にたいしては、大衆の消費者はただ噴然とするだけでまったく無力であり、その防止・回避の方法がみだされぬ。そこで政府は、商社などの商品投機を抑制するための「生活関連物資の買占め、売惜しみに対する緊急措置法案」を閣議で決定。国会に提出する手続をとるに至った(昭48.3.9朝日新聞)。その原案では「1年以下の懲役、または20万円以下の罰金」という罰則が設けられている。当初案の罰則が甘いとの批判に答え、また業務報告・立入り検査権がみとめられたとはいえ、罰則はただ業務報告・立入り検査拒否に限られている点に、問題が残されている。つまり買占めが政府の手で明かにされ、企業にたいし商品の放出命令が出された場合、企業がこれを拒んでも「その旨が公表」されるだけで、罰則がないのが投機抑制への強権としてまだ手緩い次第である。

統制色を避け規制がまだゆるやかなこの法案をもって、野党の議員が国会審議で十分満足し、そのまま法案の修正をみずして通過成立するか否か、頗る疑問である。われわれ大衆としてはこの際、体刑を含め一層罰則を強化し、狼のような不当な商社の投機を抑制し経済の安定、消費者の保護をはかることが何よりも望ましい。その意味において議会における野党合同の健闘を祈りたい。

—1973.3.13 稿一

(岩波書店、1972年；請求記号 365.6:S A)
(編集委員 注・手違いで、本稿は依頼した主旨にそっていませんが、あえて掲載しました。)

国際交流がさかんになるとともに、世界の共通語としての英語の役割が、とみに重視されつつあるが、従来の日本の英語教育は「聞く、話す、書く」実用教育が軽視されてきたが故に、大学を出るまで八年も英語を学びながら、外人に道ひとつ教えることができないものが少なくないというのが実情である。こうした無駄な英語教育の改善をめざす社会的な要請にこたえようと、著者が我国

国弘正雄著

「英語の話し方」

工学部 教 員

きっての同時
通訳者の地位
をかち得るに
至ったきびし
い体験をもと

にしてその改革案と学習の方法論を具体的に開陳したものがこの英語の話しかたである。

該書の中でもっとも注目すべき著者独自の方策は、道元禅師の「只管打坐」から名づけたという「只管朗読」である。すなわち「聞く・話す」英語に上達するには、中学二・三年程度の「リーダー」を只管（ひたすら）朗読すればよいというのである。そして、この英語の達人の教えを忠実に実行して大きな成果をあげられたのが、なんと東洋大学の前工学部長・大越諱先生だと、本書は特筆しているのである。

「先生は、学会に出席するため渡米し、奥さんを伴って、サンフランシスコで観光バスに乗られた際、そのバスの案内が実によくわかり、奥さんに通訳することができて夫として大いに面目をほどこし、またイギリスでも学会の小委員会のチェアマンとして名議長ぶりを発揮された」とある。

中学三年までの「リーダー」には我々が日常使う語彙や表現・文法形式がすべて網羅されているので、この中から一貫した内容で、理解が容易な比較的長い文を音読すれば、その効果は大きいと強調し、街に氾濫している一行や二行の短文を集めた会話書の類いを断片的に覚えても役に立たないと勧告していることは傾聴に値いする。

「ことばに上達する秘訣は、なんといっても多読であって、これは母国語でも而りであり、達意の文を綴り、明晰に自己を表現できる人は必ずといってよいほど沢山ものを読んでいる」と断言する著者の持論とあわせて、本書の趣旨を遵奉・活用すれば、大越教授に、まさるともおとらぬ成果を期待し得るであろう。一前工学部長・大越教授を偲んで一（サイマル出版会；発注中）

（編集委員 注・本稿は、投稿でしかも特集の主旨にそいませんがえて掲載しました。）

Beilsteins Handbuch の 継続購入を中止(工学部)

有機化学の基礎資料としてドイツspringer社の Beilstein Handbuch der Organischen Chemie は世界最高の権威を与えられているが、工学部分館では開設以来これの収書に努め現在本巻補遺合せて123冊の既刊分全巻を所蔵している。

この Beilsteins は高価にして不定期継続出版のため、大学や研究所でも欠けている所があり、特に川越近辺ではほとんど所蔵がないので工学部教員学生だけでなく工業技術研究会の会員にも頻繁に利用されてきたが、最近では補遺一冊が10万円以上となり、応用化学科の予算では負担が大きすぎるので46年度を以て購入打切りとなったのです。

補遺の入らなくなった資料では利用価値も半減しますので、分館としては一日も早く購入が再開されるよう努力しています。

工学部の記事をより多く.....

一図書館ニュースのアンケートから一

先般「図書館ニュースについての御意見を」という見だしてアンケートをお願いしましたが、工学部ではおくれらせながら、皆様の御協力により、少数ですが、回収されましたので、その結果を要約しておきます。

①この号で一番興味深い記事に○をつけて下さい。——ぶらざ・で・りぶろ、参考図書の問題、文献調査法、アンケート結果、投書解答、図書館に本がない、等の内、特に、ぶらざ・で・りぶろに○が多かった。②今後どの様な記事を望みますか。——読書についてや、読書案内をのせてほしい。又随想をもっと多くのせてほしいという意見や、工学部図書館に関する記事を多くのせてほしいとの要望がありました。これらの御意見に添う様努力していきたいと思います。③紙面構成や見出しのつけ方、カットなど技術面についての御意見。——これについては次の様な意見がありました。それ程関心はないがもっとまとまって見やすい方が良いのではないかという御意見や、又表紙が余り良くない。表紙に余り固い記事をのせず、軽い読物を半分位入れ、後はもっと人目をひく様な大
(7ページ左下へつづく)

参考図書の解題

—キリスト教関係の辞典—

① カトリック大辞典 5冊

カトリック神学・哲学・倫理・教会組織・典礼・芸術・教会史・聖人伝・カトリックの世界観を中心にカトリック信者のみならず、一般人をも対象に編集されている。

日本において始めて出版された体系的な専門辞典であり、各項目の最後に執筆者名が記されている点及び写真や参考文献が豊富に収録されている点など利用価値の高いものである。

第5巻が参考文献の補遺、欧文人名・事項索引、和漢人名索引、回教・大勅書・法令索引にあらわれている。

なお、各項目の最後に執筆者名のないものはヘルデル書店の百科大辞典 Der Grosse Herder. Lexikon für Theologie und Kirche 及び Staatslexikon からとったものである。

(上智大学編 請求記号 190.3:J)

② キリスト教大辞典 改訂新版

組織、聖書、歴史、実践の各神学部門を中心に諸宗教、哲学、社会、科学、芸術、風物等の事項を関連項目として若干含め、主としてプロテスタントの立場から編集されている。

項目数は約一万で、一般読者の利用の便をはかためるために小項目主義が採用されている一方、主題の重要度に従って相当数の大項目及び中項目がとりいれられている。

又、項目によっては参考文献が記されている。

(6ページ右下からうつる)

胆な企画がほしい。等の御意見がありました。

④その他についての御意見をどうぞ。——

色々ためになる記事がたくさんあって非常に良いという意見がありました。又題字などは、外国語を用いて飾る必要はないと思う。むしろ読者に対してわかりやすくそれでいて、我が大学の象徴ともなるべきもの、個性が出ているものがよく、題字の役割りを考えてもらいたい。という意見が出されました。

以上いろいろと貴重な御意見を頂き、今後、紙面の充実に大いに参考にしていきたいと思います。

(図書館ニュース編集委員会)

巻末には付録として a) 聖書の度量衡・貨幣・暦 b) ローマ教皇・皇帝表 c) キリスト教史年表 d) 図版 e) 地図 f) 索引 がある。(教文館 請求記号 190.3:K:2)

③ キリスト教用語辞典

キリスト教(カトリック、プロテスタント、英国教会、ギリシャ正教会)を中心にイスラム教、ユダヤ教に関して、教理・神学・祭式・行事・教会法・宗教史等の領域にわたって用語が抽出されている。

第2部で比較的重要な用語を特にとりあげ挿絵を用いて説明している。

巻末には教会史年表、歴代教皇表、洗礼名表等の附表がある。

(東京堂出版 請求記号 190.34:KY)

—工学部分館関係— (3)

◇マグローヒル・コンピューター百科事典

この事典は Mc Graw-Hill 社より出版された Condensed computer encyclopedia, 1969. の日本語版である。著者 Philip B. Jordain は現代アメリカの大企業でオペレーション・リサーチのスペシャリストとして活躍しているベテランである。

電子計算機は現代開発され、急速に発展し、利用されるようになった機械であり、それに伴って、新しい専門用語が次々と生み出されており、初心者はいずれの用語の煩雑さにわずらわされるのであるが、この事典は第一に、それらの専門用語をわかりやすく解説することを目的としている。しかし、用語解説に伴いがちな断片的な知識に墮することのないよう、ここかしこに総括的な説明がなされており、時にはかなりくわしい手引や、プログラムの実際例までも豊かにとり入れている。著者も云うように、これは「辞典と専門的手引き書との中間をねらって書かれたのであり、辞典の抽象的なわかりにくさをさけ、専門書の煩雑さをもさけようとしたもの」である。

日本語版は原版と同じ英語の用語配列に従っており、勿論巻末には和英両方の索引がついている。日本語版の監訳者・渡辺茂氏はシステム工学の権威者である。

(講談社、請求記号 549.92:JP)

新分館長に都淳一教授（工学部）就任

一瀬分館長の任期満了にともない、4月1日付で工学部土木工学科都淳一教授が新しく分館長に就任されました。任期は2年です。

都先生は、東京帝国大学卒業後、鉄道技術研究所に勤務されて、土質工学の分野で数多くの研究業績を残され、昭和46年4月本学工学部に教授としてご就任、現在にいたっておられます。学位論文は「鉄道路盤表層に作用する路盤圧力の研究」。

図書などの閲覧と
貸出しのご案内 (2)

前回、閲覧（館内貸出し）のご案内に引続いて、今回は、館外貸出しの冊数・期間などについてお知らせいたします。

II 館外貸出し

A 一般学生 2冊 満1週間

ただし、雑誌の最新号・未製本の学術雑誌・紀要など、辞書・事典・年鑑・年表・法令集・統計書・索引・図表などの参考図書を除く、雑誌及び、一般図書に限ります。また、指定図書は、2冊、3日間です。上記の冊数と期間の中には、これらの図書資料が全て含まれています。

B 卒業論文作成の4年生及び短大2年生
5冊 満1ヶ月

貸出しの対象となる図書資料は、上記と同じです。ただし、未製本雑誌は、2冊、1週間の貸出しになります。この貸出しの取扱い期間は、4月から、卒業論文締切り日までですが、口頭試問の準備の為の貸出し、又、卒業論文予備レポート作成の3年生の春休み中の貸出しについては、担当の係に遠慮なく御相談下さい。

C 大学院生 5冊 満2ヶ月

貸出しの対象となる図書資料、未製本雑誌の取扱いについては、Bと同じです。

平常は、上記のように貸出しいたしますが長期休暇、白山祭期間中などの貸出し期間については、そのつどお知らせします。

試験期には、試験開始1週間前から、全面的に貸出し停止になります。また、館内整備の為、一時的に貸出しを停止する事があります。これも、そのつどお知らせいたしますがよろしく御協力下さい。

日 誌 (1月～3月)

- 1月18日 井上円了先生の学生時代のノート、「稿録」（明治16年頃）を書庫で発見。
- 29日 昭和47年度照合（所蔵資料の調査）を開始、3月10日終了
- 2月13日 選択委員会 昭和47年度図書費の補正について審議
- 15日 運営委員会 昭和47年度図書費の補正および昭和48年度予算要求について審議
- 21日 九州大学附属図書館教養部分館、堺氏見学のため来館
- 26日 「東洋大学図書館所蔵図書目録」（仮称）和文篇第1分冊、刊行決定
- 3月3日 「英文学基本図書目録」（第1分冊—古代・中世・17, 18世紀、第2分冊—19世紀・現代）英米文学研究室の協力で完成
- 6日 選択委員会 同志社大学図書館、館員の方2名見学のため来館
- 10日 創価大学図書館、小杉氏外1名見学のため来館
- 27日 私大図書館協会 役員会（於葉山、中央大学寮、館長以下3名出席）
- 31日 私大図書館協会「書誌学分会」

編集後記 特集「私のすすめる一冊の本」の割りに悩まされました。御協力いただいた先生にお礼申し上げます。感想・意見等ありましたら何でもけっこうですから館内の投書箱に入れて下さい。